

NEWS LETTER

特別支援学校就労応援団とやまニュースレター vol.10 令和5年9月発行

特別支援学校の高等部では、働く意欲を高め、社会的・職業的自立に必要な知識や技能を身に付け、進んで社会参加する態度を養うため、就業体験（インターンシップ）を実施しています。

働く力を育むために－特別支援学校の取組－

就業体験等へ向けて

<企業との打合せ>



体験先が決まったら、担任の先生と一緒に企業へ行き、通勤方法、仕事の内容、持ち物、実習時間などの確認をしています。



打合せへ行くときも、公共交通機関を利用し、通勤方法を確認しています。体験内容などの質問や聞いたことは自分でメモを取るようになっています。

<目標設定、決意発表会・激励会の実施>

就業体験の前には、個人目標を述べる決意発表会があります。体験生として自覚をもち、就労への意欲を高める機会となっています。



僕の学校では、タブレット端末を用いてプレゼンテーションのスライドを作成し、体験先や体験内容、目標を発表しています。自分のすべきことが整理され、就業体験にのぞむことができます。たくさんの方に自分の頑張ることを知ってもらい、声を掛けてもらえることが励みになります。



就業体験をとおして－好事例紹介－

<Aさん> パソコンでの打ち込み作業

・受け入れ企業の担当者は、Aさんがローマ字打ちが苦手であることに気づき、ローマ字の50音表を作成した。
⇒Aさんは、50音表を使ってスムーズに作業に取り組むことができるようになった。質問することが減り、作業速度があがった。Aさんは、上達を実感しており、「作ってもらって良かった。」と言っている。

「特別支援学校就労応援団とやま」登録企業の声

「特別支援学校就労応援団とやま」登録企業の事業者の障害者雇用についての思いや考え等を紹介します。

有限会社 荒木商会（登録番号 1）

高岡支援学校の就業体験をきっかけに2014年から障がい者雇用を開始いたしました。当初は社員の戸惑いもありましたが、経験を積んでいくことで、働きづらさを感じている社員の理解も深めていきました。最も大きなメリットは、経営ビジョンに『誰もが安心して働ける共生社会の実現』が定まり、実現に向け自分ごととして考えてくれる社員が増えたことです。これは障がいの有無に関係なく、社内風土として考えられるようになってきたことが大きいと思います。障がい者雇用を通して、仕事は『やり方』よりも人としての在り方が大切であることを、社内で浸透させていきながら、一人一人が能力を発揮できる安心安全な職場環境をみんなで作り上げていきたいと考えています。

富山県教育委員会県立学校課特別支援教育班 発行

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

TEL 076-444-3451 FAX 076-444-4437

★「富山県特別支援教育将来構想」はこちらから⇒



「自分たちに何ができるだろう…」とお悩みの企業様。まずは、特別支援学校にお気軽に声をおかけください。そして、生徒の姿や学習の様子をご覧ください。